

みちのく未来基金 第8期生進学先

麻布大学
石巻専修大学
医療創生大学
岩手医科大学
岩手県立大学
岩手県立大学宮古短期大学部
岩手大学
岩手保健医療大学
エコール辻東京
大阪芸術大学
近畿大学
国際医療福祉大学
国際マルチビジネス専門学校
埼玉女子短期大学
芝浦工業大学
松陰大学
尚綱学院大学
城西大学
女子栄養大学
昭和音楽大学
聖和学園短期大学

仙台大原簿記情報公務員専門学校
仙台白百合女子大学
仙台青葉学院短期大学
仙台総合ビジネス公務員専門学校
仙台大学
仙台ビューティーアート専門学校
仙台保健福祉専門学校
仙台理容美容専門学校
専門学校東京アナウンス学院
創価大学
辻学園栄養専門学校
筑波大学
鶴見短期大学
帝京大学
東京アニメ・声優専門学校
東京スイーツ&カフェ専門学校
東京スクールオブビジネス専門学校
東京農業大学
東京ベルエポック美容専門学校
東北医科薬科大学
東北外語観光専門学校

東北学院大学
東北芸術工科大学
東北工業大学
東北電子専門学校
東北福祉大学
東北文化学園大学
日本工学院専門学校
日本大学
福島学院大学
福島大学
法政大学
宮城学院女子大学
宮城調理製菓専門学校
明海大学
盛岡医療福祉専門学校
盛岡ヘアメイク専門学校
山形大学
酪農学園大学
立教大学
麗澤大学

2019年4月 第22号

みちのく未来通信

**みちのく未来基金第8期生が仲間！
新たな夢への第一歩を踏み出しました。**

2018年4月に第8期生として95名のエントリーがあり、84名の進学先が確定しました。サポーター（寄附者）・在籍生・基金スタッフ一同応援していきます。奨学金給付人数は基金発足以来811名となりました。既に480名を超えるみちのく生が社会に旅立ち、それぞれのフィールドで活躍をしております。「わ」をキーワードに様々な繋がりを感じられる、そんな基金であり続けたいと思います。

公益財団法人みちのく未来基金
〒980-0022
宮城県仙台市青葉区五橋2丁目4番1号
エクセルジオ五橋5F
電話番号 022(724)7645 FAX番号 022(724)7646
E-mail info@michinoku-mirai.org
HP http://michinoku-mirai.org/

みちのく未来基金 第8期生進学支援実績

	合計	国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校
岩手県	28	1	18	2	7
宮城県	43	5	23	4	11
福島県	6	0	4	0	2
上記3県以外	7	2	2	0	3
合計	84	8	47	6	23

寄附金状況報告

* 2019年3月末現在

	金額(千円)	金額比率	件数	件数比率
個人	1,154,179	27.1%	62,599	91.8%
法人・団体	3,111,150	72.9%	5,579	8.2%
合計	4,265,329	100.0%	68,178	100.0%

2019年3月末時点で約42億円のご寄附をいただきました。多くの個人、法人・団体の皆さまからのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。4月以降、320名を超える在籍生に対し奨学金の給付を行ってまいります。今後約20年間に渡って支援を継続するためには、総額約48億円が必要と見込んでおります。引き続き、皆様からのご支援をよろしくお願い致します。

皆様からのご寄附は、すべて震災遺児の学費として使わせていただいています。

※奨学生交流費用と運営管理費用についてはスタッフ派遣企業4社の寄附金で賄っております。

■ご寄附方法 「銀行振込」「クレジットカードによる引き落とし」「現金書留」のいずれかをお選びいただけます。みちのく未来基金へのご寄附は寄附金控除の対象となります。

七十七銀行 店舗コード: 本店 100 普通預金 口座番号 7951345 三菱UFJ銀行 店舗コード: 仙台支店 314 普通預金 口座番号 0271354

ゆうちょ銀行 ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へのお振込 記号 18150 番号 27549411 共通 口座名義 公益財団法人 みちのく未来基金
他銀行からゆうちょ銀行へのお振込 店名 八一八 店番 818 普通預金 口座番号 2754941 口座カナ名義 ザイ)ミチノクミライキキ

* 上記のいずれかの口座にお振込みください。(お振込みには手数料がかかります) * 受領証発行ご希望の場合は、お電話・FAXもしくはE-mailにて送付先をご連絡ください。

クレジットカードによるご寄附の場合 ホームページアドレスから入り、クレジット決済画面にてお申込みください。

現金書留によるご寄附の場合 郵便局から、当基金宛てに直接現金書留にてご郵送ください。

銀行口座引き落としによるご寄附の場合 口座がある金融機関にお問い合わせください。

＜支援企業・団体＞ 5年以上継続で累計500万円以上もしくは単年で1千万円以上のご寄附をいただいている企業・団体 (五十音順)

(株)アール・アイ・イー / (株)アイ・エム・コーポレーション / 旭精工(株) / (株)足立音衛門 / アトム(株) / (株)アンズコーポレーション / (株)一如社 / 岩井機械工業(株) / 岩瀬コスファ(株) / エムスリー(株) / (株)O2 (オーツー) / 化成工業(株) / (株)カナエ / (株)カネスエ / (株)関電工 / キヤノンマーケティングジャパン(株) / (株)協和 / (株)国元商会 / グリフィスフーズ(株) / (株)KEG / コクヨ東北販売(株) / 小管(株) / コストコホールセールジャパン(株) / (株)サナス / 三省製薬(株) / 山陽技研(株) / 三和工業(株) / (株)CDG / CKD(株) / (株)ジェーシービー / スターバックス コーヒー ジャパン(株) / 住友不動産(株) / (株)世界思想社 / ソニーネットワークコミュニケーションズ(株) / 大地みらい信用金庫 / ダイナパック(株) / (株)タナカ / (株)タマディック / (株)土金 / (株)ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本 / 電鉄通商(株) / 東洋ビューティ(株) / とどけの響き邦楽チャリティーコンサート / (株)東和コーポレーション / (株)トレンディ / (株)とをしや薬局 / 日進工具(株) / (一社)日本少額短期保険協会 / 日本臨床口腔外科医会 / 熱研プラント工業(株) / (株)ノーリツ / (株)ハウスメイトパートナーズ / (株)ビー・アンド・イー・ディレクションズ / (株)ビックスコーポレーション / (株)ビューティーネイラー / (株)ファミリーマート / (株)ファンケル / (株)フィールコーポレーション / (株)フィラディス / フクダ電子(株) / フクビ化学工業(株) / (株)フクヨー / (株)不二興産 / 富士ゼロックス(株) / BLEA / 北陸朝日放送(株) / (株)ホスピタリティーエージェント / (株)北海道新聞社 / (株)丸山珈琲 / 三菱自動車工業(株) / 三菱自動車 STEP 募金 / 宮川興業(株) / (株)三好不動産 / 未来航路(株) / (株)ヤオコー / (株)薬王堂 / 八千代電設工業(株) / ユニー(株) / ユニ・チャーム(株) / ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング(株) / (株)Reach for the stars / 医療法人社団 和幸会 鈴木レディスホスピタル

＜後援企業・団体＞ (五十音順)

秋保リゾートホテルクレセント / (株)秋元技術コンサルタンツ / 五十嵐 ICT プロモーション / 岩手日報社 / 鈴木友隆公認会計士事務所 / 学校法人東北工業大学 / なぎさ社会保険労務士事務所 / 宮城第一信用金庫

＜スタッフ派遣企業＞

ロート製薬(株) / カルビー(株) / カゴメ(株) / エバラ食品工業(株)

ご協力いただいている全ての皆様に感謝いたします。

Copyright(c) 2011 公益財団法人みちのく未来基金 All Rights Reserved.



▲ 仙台国際センター 大ホールにて

みちのく未来基金 第8期生の集い

～みんなの想いで広がる「わ」～

2019年3月16日・17日の2日間にわたって、仙台国際センター、秋保リゾートホテルクレセントにて「みちのく未来基金第8期生の集い」を開催いたしました。参加してくれた59名の8期生を53名の在籍生がサポートスタッフとして出迎え、オリエンテーション・レクリエーション・夕食会と楽しい時間を過ごすうちに打ち解け、夜の語りの時間や談話室では、先輩と新入生が楽しく話をしていました。



▲オリエンテーション

▲レクリエーション

▲夕食会

語りの時間



進学する地域、勉強する分野別でチームに分かれて語り合う「語りの時間」では進行役として、サポートスタッフの先輩たちが8期生を促します。「学生のうちにやっておきたい事」「子どもの頃好きだった給食」などの話しやすいテーマから、「将来の夢」などみんな思い思いのことを話してくれました。

ランチパーティ

サポーターとみちのく生が直接話をする機会があるランチパーティ。今回は会場も広くなり、精力的にみちのく生と交流して話を聞いて下さっているサポーターの方も多く見受けられました。みちのく生からのコーヒーサーブもあり、各々のテーブルがとても盛り上がり、ランチパーティの時間もあっという間に過ぎていきました。



お祝いの言葉 小菅株式会社 小菅 崇行 様

サポーターの1人として、先ほどから門出の会で進路が決まった皆さんの挨拶をお伺いしておりました。抱負や夢、感謝の言葉を語っていただき、本当に我々サポーターにとってはサポートする力になり、本日改めてみちのく生の応援をしてきて本当に良かったと思いました。

皆さまには学生として、社会人としてこれから各々の立場で是非活躍をしていただきたいと思います。またいつも盛大な会を催して頂き、我々サポーターもお呼び頂いて心から感謝を申し上げたいと思います。毎年3月を迎えますとテレビだとかマスコミで、あの年のことを放映することが多いと思います。今年で「もう8年」、「まだ8年」という言葉が何回も何回も繰り返されておりました。私の個人的な話にはなりますが、ちょうど8年前の初夏に20年来の友人である長沼さんから、1本の電話があり「この基金の立ち上げを考えているのだが手伝わないか・・・」という話を受けました。直ぐに返事をさせていただき、発起企業の皆さまや設立に携わった方々との会合に参加させて頂きました。



今振り返りましても、そこでの話は皆さまの英知と情熱に満ち溢れており、敬服した事を思い出します。4年前に「みちのく未来基金設立の記録」という本を書いたから読んで欲しいと、渡されました。いつも仙台に来るときにこの本を読み返して、みちのく未来基金の本当の理念だとか、ある意味では自分達がやらなければならない範囲だとかを振り返りながら感慨深く読ませてもらっています。

長沼さんも僕も当時は60歳くらいでしたが、今は70歳という景色をもう見る歳になりまして、まだ10数年の活動を続けなければなりません。先ほど、発表の中でも何人かの方が仰ってましたが、みちのく生の皆さまが社会人になっても、みちのく未来基金の活動をある意味でサポートして頂ければと思っています。皆さまの普通の生活ですとか言葉だとか、必ず同じ世代の若い人達に影響すると思っています。

2年前にある高校3年生の子をこの場に連れてきました。その子は帰り際涙を流していました。皆さんのこれからのいろんな活動、それから社会人としての生活が周りの方たちにとっても影響すると僕は思っています。そういった意味で是非これから社会、それから日本の中心として皆さんが活躍していただくことを心から祈念しまして、ご挨拶に代えさせていただきます。

新スタッフ紹介

新しいスタッフの紹介



きたがわ のぶひと
北川 宣人 (のぶさん)



お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください!

2019年4月1日付けでエバラ食品工業より着任致しました、北川宣人と申します。私の妻が仙台出身で、すごく親しみを感じます。そんな仙台という地で働ける機会を頂き、大変感謝しております。みちのく生の皆さんの将来の夢に向け、微力ながらもがんばります。先ずは、新しい場に慣れることが先決です。その為に皆さまにもお願いです。私を街などで見かけたら気軽に「のぶさん」と呼んでください。今後とも何卒宜しくお願い致します。

旅立ちの会



6期生 (S.Tさん)

私は学校生活や友人関係に悩んでいる時基金のイベントに参加し、6期生や先輩方、基金のスタッフにたくさんお世話になりました。今就職活動中ですが、自分に合う就職先を頑張って見つけたいと思います。(集い後に内定をもらえた事を知らせてくれました)



6期生 (N.Nさん)

7月に横浜の美容室に就職が決まり、先日専門学校を卒業しました。この2年間すごくあっという間でした。辛いことや苦しいこと、楽しいこともたくさんありました。みちのくのテーマである人と人との「わ」は、学校の先生、就職先など様々なことに自分の中で繋がっています。これからなる美容師という職業は、人と人との「わ」が大切な職業なので、大事にしていきます。



5期生 (H.Mさん)

春から地元の石巻にある整骨院で働くことが決まっています。3年間専門学校で勉強できたのは、基金のスタッフのみなさんやサポーターのおかげです。辛いこともありますが、その倍楽しいこともありました。今までにないくらい勉強して、柔道整復師の国家試験も全力を出すことができました。集いは去年と今年しか参加してないのですが、先輩方や後輩に恵まれ、特に5期生には仲良くしてもらって楽しい時間を過ごすことができました。二人弟がいますので、ご支援はまだまだしてもらおうこととなりますが今後ともよろしくお願ひします。みなさんが自慢だと言ってくれるような柔道整復師を目指して頑張っていきます。



5期生 (T.Yさん)

先日柔道整復師の国家試験が終わり、専門学校を卒業しました。3年間はあっという間で、家族や基金のみなさんに支援していただかなければ辿り着くことはできませんでした。立派な柔道整復師として働きたいと思っています。



4期生 (K.Aさん)

4月から宮城県の小学校の先生として働くことが決まりました。豊かな発想力や柔軟性を子ども達に教えられる先生になることが目標です。みちのくは、お金の支援だけではなく、心温まる笑顔であふれ、人としてたくさん成長できる場所だと思います。イベントにはぜひ参加してください。たくさん支援いただき素敵な友達にめぐり合わせてくれたスタッフさん、元気をくれたみちのく生、遠くから手を差し伸べてくださったサポーターの皆様、ありがとうございました。いただいた愛情を、今度は宮城県の子どもたちに注いで、精一杯頑張っていきます。



4期生 (N.Mさん)

来月から東京の不動産会社で働きます。大学4年間を過ごすことができたのはみちのく未来基金のおかげだと思っていますし、大学で学んだことを不動産会社としてこれからの社会に貢献できたらと思います。この4年間は楽しめたかなと思います。今までありがとうございました。



4期生 (S.Aさん)

大学生活の中で最も大きな挑戦は自分の故郷と家族に真剣に向き合うことでした。復興が進まない故郷と孤独になった母親を一人残し、留学した事をずっと負い目感じていました。しかし離れて初めて見える景色をたくさん見ることができました。ハメを外すこともありましたが、この4年間無駄だった事は一つも無かったと思います。そんな貴重な挑戦と出会いの場をくださったのは基金です。感謝してもしきれません。亡くなった父との時間は二度と戻ってきませんし、その偉大な存在に変わるものはありませんが、基金に出会い充実した大学生活を過ごす中で、一つまた一つと人生の中でずっと大切にしていきたいものを見つけることができました。今後は英語の教員を目指します。たくさんのお出会いに恵まれ色々な経験をしたからこそ自分の口で語れる、そんな先生になって宮城県に戻れるよう努力していきます。



4期生 (H.Aさん)

私は春から仙台市内の高齢者施設で栄養士として働くことが決まりました。基金の皆様は、本当に自分たちのことを見てくれていて、面談の時には友達には話せないことも親身に聞いてくれたので、心が軽くなり安心する場所でした。みちのくの先輩たちにはすごく良くしてもらって「また来たいな」と思えました。自分は口下手なのですが、後輩たちにも同じことをしてあげたいと思って話しかけるようにしていました。同期のみなには4年間ずっと一緒にいられて楽しかったです、いつも有難う。私の父は、消防士で殉職という形でした。父の背中にごく憧れて、カッコいいと思っていたので私も自分らしい社会人になって誇れる仕事をしていきます。お母さんを姉弟みんなで支えて頑張ります。



4期生 (K.Uさん)

春から東京にある資産運用業界の子会社で仕事をします。私は岩手県の陸前高田出身ですが、大震災の翌日から青森県に転居し、学校生活を送りました。被災地ではないという現状を受け入れられず、どん底の中に居ましたが、そんな時基金の方が来て、一筋の光が見え、自分も次のステップに行けると考えた時に、「明日からちょっと頑張ってみようかな」という気持ちになったのを今も覚えています。親という存在を失った我々を、時には叱り、厳しいことも言ってくださる存在は、私達に足りない部分で、優しくされるよりも大切だと思います。僕が初めて集いに参加した時に、先輩方が壇上で涙を流して感謝を伝える場面を見て、「こう感じる基金なんだ、少しでもいいから基金に何かできたらいいな」と思い、集いに参加しました。後輩たちには、自分達の後ろには、こんなにも温かい気持ちで支援くださるサポーターの皆さんがいることを忘れないでほしいです。最後は笑顔で卒業していきたいと思っています。



4期生 (A.Oさん)

2年間専門学校、2年間大学で学びました。専門学校ではお菓子づくり、大学では心理学を勉強してきました。小さい頃からパティシエになることが夢で、お菓子のことだけを考えていたと思っていたのですが、専門学校に入ってみると様々な価値観の人がいて、周りがある労働環境、経営の仕組みを学びたいと思い大学に編入しました。私にとって基金は、家族のような親戚のようなとても温かいものでした。みちのくの仲間は、とても大きな財産になると思います。大学や専門学校の友達とはまた違う絆を感じています。今後たくさんの方と触れ合う機会を設けて人生の糧となるように、交流を深めていきたいと思っています。4年間いろいろなことがあって心理学を学ぶことの面白さ、お菓子を好きだという気持ちを持って、充実したものにすることができました。



4期生 (M.Kさん)

この4年間を振り返ってみると、皆様のおかげでたくさんの方に挑戦する機会をいただき、充実して過ごすことが出来ました。特に印象に残っているのは、高校生からずっと夢だった留学です。大学の3年次に1年間サンフランシスコの大学に留学をし、様々な人種やバックグラウンドを持った人たちと友達になることができ、価値観が大きく変わり、視野が広くなり、精神的にとっても成長する経験となりました。私は4月から旅行会社に就職します。将来は外国人観光客の方に日本の魅力を伝えるインバウンド事業旅行を通じた地域貢献・地域活性に関わっていきたいと思っています。



4期生 (C.Sさん)

先月作業療法士の試験を受けてきました。試験の一週間くらい前から母と基金のことが頭に浮かんで、落ちたらなんて言おうって考えていたのですが、合格すれば希望する病院で働くことができるので、自分を信じています。遅刻常習犯だった私は迷惑をかけたと思いますが、すごくアットホームで家族のように接してくれていたため、学生のうちにその優しさを噛みしめることができよかったです。就職したら気をつけます。サポーターの方々、仲良くしてくれた先輩・4期生・後輩のみんな本当に有難うございます。働いたらキレキレの作業療法士になるように頑張ります。

4期生 (M.Mさん)



みなさんのおかげで大学進学することができました。大学生活という時間をもらって、勉強だけでなくいろんな人と出会っていろんな経験をすることができ、とても成長することができました。集いは毎回参加するようにしていて、スタッフの方や同期が温かく迎えてくれてすごく居心地がよかったです。それだけでなく、スタッフの方は時には厳しく接してくれたり、他のみちのく生が頑張っている姿を見たりして、自分も頑張らなきゃなというも思わせてくれる基金でした。これからはいろんな人に支援してもらった分、社会に貢献し、周りの人や家族を幸せにできるように頑張っていきたいと思います。

4期生 (R.Yさん)



自分は大学4年間野球をやっている集いや他のイベントに参加できず、今回初めて参加しました。ここは人の出会いや繋がりができる場所だと思うので、後輩たちには気軽に参加して欲しいと思います。同じ経験をした人に出会えたことはなかったもので、今回震災の話や中学校の話もできて、楽しい時間を過ごせました。大学4年間野球をやれたのは、ここにいるサポーターやスタッフのおかげだと思っています。感謝の気持ちでいっぱいです。恩返しできるように頑張っていきたいと思います。

4期生 (C.Wさん)



4月からは国家公務員として 地方自治の分野で働きます。震災が起きた中学3年生から高校卒業にかけては震災と向き合うことが苦手で、家でも学校でも話題を避けて生活していました。4年前この集いに参加して、自分と同じ境遇の人たちが夢を話している姿を見て、いつまでも避けてはいけな、もうちょっと頑張りたいなという風に奮い立つ気持ちになったのを今でも強く覚えています。大学の友達とも家族とも違う、みちのくというコミュニティが自分にとってすごく大きな支えになったと思っています。自分の姉妹のように心から応援したいなと思える組織に出会えたというのは、私の人生の中で大きな喜びと幸せになっています。

3期生 (S.Kさん)



私は2年間の短期大学、その後編入して3年間大学に通わせていただきました。振り返って思うことは、大学で出会った友人や基金のスタッフの皆さんなど「本当に人に恵まれたな」ということです。4月からは地元の岩手県に帰って中学校の英語科の教員として働きます。この一週間、お世話になった方々とお別れする機会が立て続けにあり、この方々にどうやって恩を返していけばいいのかと考えた時に唯一出た答えは、4月からの教員生活を一生懸命頑張ることと、みなさんが私たちにくれた優しさを、今度は私が、生徒やこれから関わっていく人たちに与えることだと思っています。今後もみなさんとの繋がりを大切にしていきたいです。

2期生 (Y.Kさん)



僕は元々大学に行こうとは考えていなくて、震災が起こってから何も考えられない状態で、落ち込んだままの高校生活を過ごしていました。そんな中で基金と出会い、またやりたいことや目標や夢を見つけないとと思って大学に進学させていただきました。大学の4年間、そして大学院の2年間は本当にあっという間でした。4月からは新社会人として神奈川のセメント会社で働きます。少しでも彼女や家族に恩返しができるように一生懸命働いていきたいです。

2期生 (F.Sさん)



みちのく未来基金では6年間お世話になりました。特に勉強になったことは人の名前を覚える大切さです。国家試験に受ければ、4月からは南三陸町にある志津川の薬局で働くことになっています。最近の制度で、かかりつけ薬剤師というものがあるので、人の名前を覚える大切さが生きてくると思います。志津川周辺の人で僕の薬局に来たらかかりつけ薬剤師をお願いしてほしいと思います。ありがとうございました。

2期生 (R.Sさん)



私は、岩手県の北上市という内陸出身内陸育ちであり、3月11日の東日本大震災の日、自分の父親は沿岸部へ仕事に行った帰りに、津波に飲まれてしまった特殊な被災のケースです。知り合いがない基金のイベントには殆ど参加した事はありませんでしたが、行ってみると集いは自分が思っているよりもとても温かい場所でした。春からは岩手県の高校の数学講師として働くことが先日無事決まりましたのでまた一からスタートしていけたらと思っています。サポーターの皆様、私たちみちのく生が今こうして幸せに暮らせることは本当に皆様のおかげだと思います。先程8期生の発表を聞いても思いましたが、こういった夢や希望を抱けるということは、支援があるからこそだと思いますので、今後ともぜひ変わらぬご支援の程をよろしくお願い申し上げます。6年間本当にお世話になりました。

集いを成功させてくれた サポートスタッフ

昨年の10月から多くのみちのく生が「第8期生の集い」の企画運営に参加してくれました。

オリエンテーション・レクリエーション・語りの時間・ランチパーティなどそれぞれの担当が8期生とサポーターの皆さんを繋ぐために打合せを重ね、この集いの実現に注力してくれました。サポートスタッフとして初めて参加した7期生も、自分たちの時に感じた不安など払拭するには何をすれば良いかなど知恵を出し合い立派に役割を果たしてくれました。

また学校を卒業したOB・OGも多数参加し、8期生を含めた後輩たちを応援してくれました。



門出の会

8期生が前日の「語りの時間」で話した夢や目標を一人ずつ自分の言葉でサポーターに発表しました。

- 「地元で貢献できる職につきたい」
- 「料理で人々を笑顔にできる人になりたい」
- 「保健師になって地域に貢献したい」
- 「学校の先生になりたい」
- 「国際社会で貢献できる人になりたい」

など59人がそれぞれの夢を語るたびに大きな拍手に包まれました。

